

# COMBO

## 【ふたご・多胎児の権利の宣言とニーズの声明】

*Council of Multiple Birth Organizations,  
a working group of the International Society for Twin Studies*  
**Declaration of Rights and Statement of Needs  
of Twins and Higher Order Multiples**

COMBO 議長 Kimberley Weatherall の確認を取り、日本語で広く普及することを目的に大木秀一（石川県立看護大学）が翻訳した（2009年1月14日）。

### はじめに

ISTS における COMBO のミッションは多胎乳幼児・小児・成人の特別なニーズが注目されるように推進することである。COMBO のメンバーは世界中の国々からなり、この「ふたご・多胎児の権利の宣言とニーズの声明」を発展させてきた。この「ふたご・多胎児の権利の宣言とニーズの声明」によって多胎児の特別なニーズに応えるための様々な社会資源が充実していく様子を評価し、こうした活動を推進する際の基準となるものである。

### 権利の宣言

多胎児の起源に関しては神話や迷信があり、国によっては文化的に制裁的な追放や幼児殺害（間引き）を招いた。こうしたことに対して、

1. 多胎児やその家族には法的に十分に保護され、いかなる種類の差別も受けない権利がある。

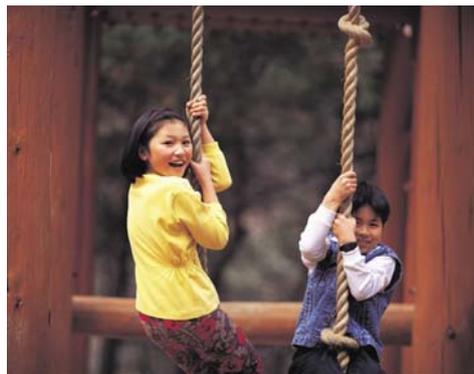
多胎妊娠や多胎児のケアは多胎児家庭に健康面および心理社会的なリスクを増加させる。また遺伝要因や不妊治療薬（排卵誘発剤）・体外受精技術によって多胎妊娠は増加する。こうしたことに対して、

2. 家族計画を考えているカップルや不妊治療を求めているカップルは多胎妊娠に影響する要因、それに伴う多胎妊娠のリスクや治療法、多胎児の親になることについてのありのままの情報と教育を受ける権利がある。



同性の多胎児の卵性は見た目だけでは信頼性を持って決定することができない。そして、

- 1) 二卵性の妊娠は遺伝的な影響を受けており多胎妊娠の割合を増加させる。
  - 2) 一卵性多胎は生物学的にも遺伝的にも類似しており、この類似は彼らの発達の類似性に大きく影響してくる。
  - 3) 一卵性の多胎はペアの相手に血液や臓器の提供者を選ぶ際の有力な候補である。
  - 4) 胎盤の情報や卵性の決定には出産時が最適である。
- こうしたことに対して、



3. A) 両親は出産時に胎盤の状態の正確な記録および同性の多胎児では卵性を診断することを要求する権利がある。
- B) 年長になってからも卵性の確定していない同性の多胎児は自分の卵性を確認する検査を受ける権利がある。

第二次世界大戦の間、ふたごはナチ強制収容所に投獄され、強制的に実験に服従させられ疾患や死を招いた経験がある。こうしたことに対して、

4. 多胎児を対象としたすべてのいかなる研究も多胎児本人あるいは両親に対するインフォームドコンセントに従ったものでなければならない。また、ヒトを対象とした実験を規定する国際的な倫理規定に従ったものでなければならない。

多胎児や多胎出産に関する不適切な文書類、無知、誤解のために多胎であることの誤診や不適切な治療の危険が増加している。こうしたことに対して、

5. A) 妊娠中だけでなく乳児死亡も含めて、多胎児の出産と死亡は正確に記録されなくてはいけない。この中にはあらゆる減胎が含まれる。
- B) 両親と多胎児は、多胎妊娠の管理と多胎児が生まれたときから始まる特別なニーズに関して十分に詳しい知識を持った専門家からケアを受ける権利がある。



多胎児相互のきずなは、その正常な発達において極めて重要な側面がある。こうしたことに対して、

6. 多胎児の全員は養護施設、養子先の家庭、親権契約などにおいて一緒にいられる権利がある。すなわち、無理矢理引き離してはいけない。

## ニーズの声明

ふたごをはじめとする多胎児は、受胎、妊娠、出産の経過や、健康上のリスクの問題、家族全体に対する影響、発達上の環境、自己の確立の過程において類のない存在である。それ故、多胎児の最適な発達を保証するためには、多胎児とその家族は、多胎児が単胎児とは違うということを尊重し、その問題の解決に努力を払っている保健医療、社会サービス、教育にアクセスする必要がある。



多胎の母親は母体ストレスと出産前後の合併症のリスクが高い、そしてふたごや多胎児は低出生体重(2500g未満)、極低出生体重(1500g未満)、障害、死亡の危険に強くさらされている。こうしたことに対して、

### 1. 多胎児の出産を間近にしている家族には以下が必要である。

A) 正期産前の陣痛の兆候と防止に関する教育

B) 正期産前の出産(早産)を回避するためにデザインされた出生前の各種社会資源とケア  
この中には以下が含まれる。

1. 理想的には妊娠4ヶ月以前の多胎妊娠の診断、これは両親のプライバシーを尊重して適切に伝えること。

2. 妊娠中の体重増加が18~27Kg(40~60ポンド)になるようにサポートする栄養相談と食事。

3. 多胎出産にとって最善の実践的プロトコールに従った産科ケアが必要である。

また、母親の健康や家族の環境を保証するのであれば

a. 公的に仕事から離れる期間を延長し、

b. ベッド上での安静を援助し、そして

c. 兄弟姉妹のための育児ケア

d. 多胎児に固有のリスク状態に対して(必要な場合は)診断と治療に対する継続的な努力を高めること。この中には双胎間輸血症候群(TTTS)を含めるが、これに限ったものではない。



(文献参照:Section I)

母乳栄養は早産・正期産を問わず多胎児に最適な栄養と養育を提供する。多胎児の母乳栄養あるいは人工乳栄養の過程は複雑で難しいテーマである。こうしたことに対して、

2. 多胎児が生まれる家庭・多胎児を育てている家庭には以下が必要である。

- A) 早産児にとっても正期産児にとっても母乳栄養は栄養学的にも、心理学的にもそして経済的にも恩恵があるのだということについての教育。特に、脳の発達に対して母乳の効果があるということ。
- B) 必要であれば専門家による継続的な母乳育児の技術についての励ましと指導
- C) 多胎の全員に1対1の人工栄養授乳をすることの利点についての教育
- D) 母乳栄養あるいは人工栄養を容易にするための適切な資源、支援システム、家事から離れることの必要性



(文献参照:Section II)

60%の多胎児は妊娠 37 週より前に生まれ、また低出生体重児で生まれることもあり、入院の割合も高率であるため親子のきずなや愛着の形成、母乳栄養を妨げている。多胎新生児は胎児の時に一緒におなかの中に位置することで快適さを得ている。こうしたことに対して、

3. 医学的に弱い多胎児の家族は親子のきずなや愛着、母乳栄養を促進し元気づけるための特別な教育と支援が必要である。医学的に弱い状態にある多胎児に対する病院の紹介や病院の各種手続きを行う際には多胎の家族が子どもに容易に近づけるようにすべきである。この中には、入院している児としていない児のお互いが近づけるようにすること(例えば、一緒に寝ることも含まれる。

(文献参照:Section III)

多胎児では出産に伴う障害や乳児死亡の危険が高くなる。こうしたことに対して、

4. 障害を持つ児を出産した経験や一児死亡を経験した家族に対しては

- A) 障害や一児死亡に関連した悲しみの状態の変化に細心の注意を払える専門家によるケアとカウンセリング
- B) 死亡した児の適切な哀悼を手助けする規定が必要である。

(文献参照:Section IV)



新生児、乳児、年長児の多胎児がケアの支援を受けていないと、家族のメンバーの産後感情障害、疾患、児童虐待の可能性、配偶者に対する虐待、離婚、そして薬物依存のリスクが高まる。そして、インフラ設備、健康対策、社会心理学的状況がよくないため、発展途上国で多胎を産み育てることは特に難しい。こうしたことに対して、

5. 多胎児をケアしている家族は、以下の諸点のために適切なサービスにタイムリーにアクセスできる必要がある。

- A) 必要な分量の乳幼児の衣類や育児グッズへのアクセスを保証すること
- B) 両親が適切な休養と睡眠を取れること
- C) 多胎児の健康的な栄養状態を手助けすること
- D) 多胎児の兄弟姉妹のケアを手助けすること、この中には退院して自宅に戻っている健康な児(その相手は入院している)も含まれる。
- E) 子どもの安全を手助けすること
- F) 親子の移動を手助けすること
- G) 継続的な小児科的なケアを手助けすること

(文献参照:Section V)



多胎児家庭ではそれぞれの児が健全に個性を持って育っていく経過を促すとともに、多胎児の間の健全な関係を励まし支援していくというユニークでやりがいのある課題を持っている。多胎児出産を取り巻く環境はその後の子どもの発達にも影響してくる。こうしたことに対して、

6. 多胎児を出産しようとする家族と多胎児を養育中の家族には以下の必要がある。

- A) 多胎児が個性的に発達するような最適な親業の実践活動についての情報とガイダンスを入手できること。多胎児の発達上、社会心理学的、医学的課題の中には社会化、アイデンティティの確立、コミュニケーション、言語獲得のプロセスが含まれる。
- B) 学校環境における多胎児に特有なニーズ、特に教室を一緒にするか別々にするかに関する情報を入手できること。
- C) 発達の遅れや問題行動が見られた方の多胎児に対する適切な検査とその評価、および学校教育へアクセスできること。

(文献参照:Section VI)



ふたごやそれ以上の多胎児は神話や伝説、メディアの搾取の対象であり、多胎児を個性のないステレオタイプとして描写している。こうしたことに対して、

7. 特に専門的な健康サービスや家庭へのサービス提供者に対するトレーニングにおいて、公的な教育はより一層、多胎児に対する神話を払拭し、多胎児に対する真実と発達の様子を広めていく必要がある。

(文献参照:Section VII)

ふたごやそれ以上の多胎児は、自分たちの生物学的な性質についての世間の無知や、多胎児の特別なニーズに順応しない柔軟でない考え方のために差別を受けている。こうしたことに対して、

8. ふたごやそれ以上の多胎児には以下の必要がある。

- A) ふたご出産についての情報と教育
- B) 保健医療、教育、カウンセリング、柔軟な政策。つまり多胎児に固有の発達基準、個性がでてくる過程、多胎児の相互の関係性の問題を扱ったもの。例えば、以下の内容を許可し育成するもの。
  1. 医学的に弱い多胎児を同じ病院で治療すること
  2. 新生児期に多胎児を保育器やベビーベッドと一緒に寝かせることで胎児期に一緒にいたことの恩恵を広げること
  3. 多胎児相互の関係を医学的、発達学的、教育学的に丁寧に評価し治療すること
  4. 学校における多胎児のクラス分けについて、毎年検討して、一緒にするか別々にするかどうかをそれぞれの多胎児ペアのニーズごとに考えること
  5. 多胎児ペアの一児(以上)が死亡したときには、特別なグリーフカウンセリング(訳者注:喪失を体験した人への精神的援助)をすること
  6. 成人に達した多胎児の特別なニーズに本気で取り組んだカウンセリングサービスをすること



多胎の乳児、小児そして成人が研究対象として参加することは、疾患やパーソナリティの遺伝率、および人間の発達における遺伝と環境の相対的な影響力を科学的に理解する上で重要な貢献を果たしてきた。多胎妊娠の最適な管理と多胎児の個性的な発達パターンについては比較的少ししか知られていない。こうしたことに対して、

9. 科学者は以下の調査研究をすることを奨励されなければならない。

- A) 多胎妊娠の最適な管理に関すること
- B) 多胎児相互の関係を尊重した医学的、発達上の、教育的なアセスメントや治療
- C) 多胎出産そのものの影響を受けている発達の過程、例えばアイデンティティの確立、社会化そして言語獲得の基準に関すること
- D) すべての年齢の多胎児およびペアの仲間を亡くした多胎児の健全な心理的発達の状態と適切な治療的介入に関すること
- E) 生存した児に対する特別なグリーフカウンセリングに関すること

10 カ国(オーストラリア、ベルギー、カナダ、ドイツ、インドネシア、日本、スウェーデン、台湾、イギリス、アメリカ)の16の組織の代表者によって構成された国際双生児研究会議(ISTS)のCOMBOによって、第8回ISTS総会(バージニア州リッチモンド:1995年5月31日)において採択された(2007年6月修正)。

**Patricia Malmstrom, Chair, Council of Multiple Birth Organisations**

**Endorsed by the Board of the International Society for Twin Studies, May 31,1995**

**Lindon Eaves, President, International Society for Twin Studies**

## **Endorsing Organizations and Representatives**

**(May 1995)** *Country/Organization/Name*

### **Australia**

*LaTrobe Twin Study - David Hay*

*Australian Multiple Births Association - Maureen Copeland*

### **Belgium**

*Association for Research in Multiple Births - Robert Derom*

### **Canada**

*Parents of Multiple Births Association of Canada - Kim Johnson*

*(known today as Multiple Births Canada)*

### **China**

*Taipei Twins Association - Cheh Chang*

### **Germany**

*ABC Club - Ute Grutzner*

### **Indonesia**

*Twins Foundation - Seto Mulyadi*

### **Japan**

*The Japanese Association of Twins' Mothers - Yukiko Amau*

### **Sweden**

*The Swedish Twin Society - Margareta Olwe*

### **United Kingdom**

*Twins and Multiple Births Association - Rachel Hudson and Audrey Sandbank*

*Multiple Births Foundation - Elizabeth Bryan*

### **U.S.A.**

*The Center for Loss in Multiple Birth - Jean Kollantai*

*The Center for the Study of Multiple Birth - Donald Keith*

*Illinois Mothers of Twins Clubs - Jean Herr*

*National Organization of Mothers of Twins Clubs - Rebecca Moskwinski and Marion Meyer*

*The Twins Foundation - Kay Cassill*

*The Twin to Twin Transfusion Syndrome Foundation - Mary Slaman-Forsythe*

*Twin Services, Inc. - Patricia Maxwell Malmstrom*

### **June 2007**

### **U.S.A.**

*MOST (Mothers of Supertwins) - Maureen A.*

*Doolan Boyle*





## STATEMENT OF NEEDS REFERENCES

### SECTION I -Prenatal Care

1. Brown, J.E., & Scholesser, P.T. (1990). *Prepregnancy weight status, prenatal weight gain, and the outcome of term twin gestations*. *Am J Obstet Gynecol* 162, 182-186.
2. Bryan, E., Higgings, R., & Harvey, D. (1991) *Ethical Dilemmas*. In D. Harvey, & E. Bryan (Eds.) *The Stress of Multiple Birth* (pp. 35-42). London: Multiple Births Foundation.
3. Callahan, T.L., Hall, J.E., Ettner, S.L., Christiansen, C.L., Greene, M.F, & Crowley, W.F. (1994). *The Economic Impact of Multiple Gestation Pregnancies and the Contribution of Assisted Reproduction Techniques to their Incidence*. *New England Journal of Medicine*, 331 244-249.
4. Cirello, P., Cohn, B., & Malmstrom, P. (1993). "Twinshock: a statistical profile of multiple births in California 1986-1989," Berkeley: Twin Services, Inc.
5. Dimperio, D.L. (Fall 1994). *Nutritional Management of Multiple Pregnancy. The American Dietetics Association- The Perinatal Nutrition Report*.
6. Dubois, S., Dougherty, C., Duquette, M., Hanley, J., & Moutquin, J. (1991). *Twin Pregnancy: the Impact of Higgins Nutrition Intervention Program on Maternal and Neonatal Outcomes*. *American Journal of Clinical Nutrition*, 53, 1397-1403.
7. Ellings, J.M., Newman, R.B., Hulsey, T., Bivins, H.A., & Keenan, A. (1993). *Reduction in Very Low Birth Weight Deliveries and Perinatal Mortality in a Specialized, Multidisciplinary Twin Clinic*. *Obstetrics & Gynecology*, 81(3), 387-391.
8. Grether, J.K., & Schulman, J. (1989). *Sudden infant death syndrome and birth weight*. *The Journal of Pediatrics* 114: 4, 561-567.
9. Jewell, S.E., & Yip, R. (1995). *Increasing Trends in Plural Births in the United States*. *Obstetrics & Gynecology*, 85(2), 229-232.
10. Kiely, J.L. (1990). *The Epidemiology of Perinatal Mortality in Multiple Births*. *Bulletin of the New York Academy of Medicine*, second series, 66: 6, 618-637.
11. Keith, L., Papiernik, E., Keith, D. & Luke, B. (Eds). (1995). *Multiple Pregnancy*. New York: Parthenon Publishing Group.
12. Luke, B. (1995). *Maternal Characteristics and Prenatal Nutrition*. In L. Keith, E. Papiernik, D. Keith, B. Luke (Eds.), *Multiple Pregnancy: Epidemiology, Gestation & Perinatal Outcome* (pp. 299-307). New York: The Parthenon Publishing Group.
13. Luke, B. (1994). *The Changing Pattern of Multiple Births in the United States: Maternal and Infant Characteristics, 1973 and 1990*. *Obstetrics & Gynecology* 84(1), 101-106.
14. Luke, B., Minogue, J., Abbey, H., Keith, L., Witter, F.R., Feng, T.I., Johnson T.R.B. (1992). *The Association Between Maternal Weight Gain and the Birthweight of Twins*. *Journal of Maternal and Fetal Medicine* 1, 267-276.
15. Luke, B., Minogue, J., Witter, F., Keith, L., Johnson, T. (1993). *The Ideal Twin Pregnancy: Patterns of Weight Gain, Discordancy, and Length of Gestation*. *American Journal of Obstetrics and Gynecology* 169(3), 588-597.

16. Malmstrom, P.M., & Biale, R. (1990). *An agenda for meeting the special needs of multiple birth families*. Acta Genet 39, 507-514.
17. Malmstrom, P.M., Faherty, T.J., & Wagner, P. (1988). *Essential Nonmedical Perinatal Services for Multiple Birth Families*. Acta Genet 37:2, 193-197.
18. Malmstrom, P.M., Wedge, M.W., Faherty, T.F., & Wagner, P. (1986, September). *Respite Care -- A Lifeline for Low-Income Families*. Paper presented at the meeting of the International Society for Twin Studies Congress, Amsterdam, Netherlands.
19. National Academy of Sciences (1990). *Nutrition During Pregnancy*. Washington: National Academy Press.
20. Papiernik, E., & Keith, L.G. (1990). *The cost effectiveness of preventing preterm delivery in twin pregnancies*. Acta Genet 39, 361-369.
21. Papiernik, E. (1995). *Reducing the Risk of Preterm Delivery*. In L. Keith, E. Papiernik, D. Keith, & B. Luke (Eds.), *Multiple Pregnancy* (pp. 437-451). New York: The Parthenon Publishing Group.
22. Papiernik, E. (1983). *Social Cost of Twin Births*. Acta Genet 32, 105-111.
23. Papiernik, E., Mussly, M.A., Vial, M., & Richard, A. (1985). *A Low Rate of Perinatal Deaths for Twin Births*. Acta Genet 34, 201-206.
24. Powers, W.F., Kiely, J.L., & Fowler, M.G. (1995). *The Role of Birth Weight, Gestational Age, Race and other Infant Characteristics in Twin Intrauterine Growth and Infant Mortality*. In L. Keith, E. Papiernik, D. Keith, B. Luke (Eds.) *Multiple Pregnancy: Epidemiology, Gestation & Perinatal Outcome* (pp.163-174). New York: The Parthenon Publishing Group.
25. Powers, W.F., & Kiely, J.L. (1994). *The Risks Confronting Twins: A National Perspective*. American Journal of Obstetrics and Gynecology 170(2), 456-461.
26. Worthington-Roberts, B. (1988). *Weight Gain Patterns in Twin Pregnancies with Desirable Outcomes*. Clinical Nutrition 7(5), 191-196.



## SECTION II - Breastfeeding and Bottle Feeding

27. Gromada, K.K. (1991). *Breastfeeding Multiples*. Doubletalk 11 (pp. 18-21).
28. Gromada, K.K. (1985). *Mothering Multiples*. Franklin Park, IL: La Leche League International, Inc.
29. Keith, D., McInnes, S. & Keith, L., (Eds.) (1982). *Breastfeeding Twins, Triplets and Quadruplets: 195 Hints for Success*. Chicago: The Center for the Study of Multiple Birth.
30. Malmstrom, P.M., & Biale, R. (1990). *An agenda for meeting the special needs of multiple birth families*. Acta Genet 39, 507-514.
31. Malmstrom, P.M., Faherty, T.J., & Wagner, P. (1988). *Essential Nonmedical Perinatal Services for Multiple Birth Families*. Acta Genet 37:2, 193-197.
32. Malmstrom, P.M., Wedge, M.W., Faherty, T.F., & Wagner, P. (1986, September). *Respite Care -- A Lifeline for Low-Income Families*. Paper presented at the meeting of the International Society for Twin Studies Congress, Amsterdam, Netherlands.
33. Sollid, D., Evans, B., McClowry, S., & Garrett, A. (1989, July). *Breastfeeding Multiples*. Journal of Perinatal and Neonatal Nursing, 47-85.

## SECTION III - Bonding

34. Anderson, A., & Anderson, B. (1987). *Mother's Beginning Relationship with Twins*. Birth 14 (pp. 94-98).

35. Bryan, E., Higgings, R., & Harvey, D. (1991). *Ethical Dilemmas*. In D. Harvey, & E. Bryan (Eds.) *The Stress of Multiple Birth* (pp. 35-42). London: Multiple Births Foundation.
36. Bryan, E. (1984). *Twins in the Family: A Parent's Guide*. London: Constable & Company, Ltd.
37. Lutes, L. (in press). *Bedding Twins/Multiples Together*. Neonatal Network.
38. Lutes, L. (1995, November). *Bedding Twins Together: Fostering Co-Regulation*. Paper presented at Developmental Interventions In Neonatal Care Conference, Chicago, IL.
39. Malmstrom, P.M., Faherty, T.J., & Wagner, P. (1988). *Essential Nonmedical Perinatal Services for Multiple Birth Families*. *Acta Genet* 37:2, 193-197.
40. Noble, E. (1991). *Having Twins*. Boston: Houghton Mifflin Co.

#### **SECTION IV - Loss**

41. Biale, R. (1989). *Counseling Families of Disabled Twins*. *Social Work* 34:6, 531-536.
42. Bryan, E. (1991). *But there should have been two*. In D. Harvey & E. Bryan (Eds.), *The Stress of Multiple Births* (pp. 49-58). London: Multiple Births Foundation.
43. Bryan, E. (1986, September). *Support for Parents Who Lose a Newborn Twin*. Paper presented at the International Society for Twin Studies Congress, Amsterdam, Netherlands.
44. Sainsbury, M.K. (1988). *Grief in Multifetal Death*. *Acta Genet* 37:2, 181-186.
45. Stauffer, A., et al. (1988). *Early Developmental Progress of Preterm Twins Discordant for Birthweight and Risk*. *Acta Genet* 37, 81-87.

#### **SECTION V - Psychosocial Risk**

46. Groothuis, J.R., Altemeier, W.A., & Robarge, J.P., et al. (1982). *Increased Child Abuse in Families with Twins*. *Pediatrics* 70, 769.
47. McInnes, S. (1979). *The Impact of a Multiple Birth on the Family in Home Help and Social Services*. Alberta, Canada: Parents of Multiple Birth Association.
48. Nelson, H., & Martin, C. (1985). *Child Abuse and Neglect*. *The International Journal* 9, 501-505.
49. Nelson, H., & Martin, C. (1985). *Increased Child Abuse in Twins*. Report from the Department of Psychiatry, Lexington, KY: University of Kentucky Medical Center.
50. O'Brien, P.J. & Hay, D.A. (1983). *Is Rearing Twins Different? The Development and Needs of Multiple Birth Children and Their Families from Birth to School Age*. [Pamphlet]. Melbourne, Australia: LaTrobe Twin Study, University of LaTrobe.
51. Robin, M., Josse, D., & Tourrette, C. (1991). *Forms of family reorganization following the birth of twins*. *Acta Genet*, 39, 53-61.
52. Robin, M., Josse, D., & Tourrette, C. (1988). *Mother-Twin Interaction During Early Childhood*. *Acta Genet* 37:2, 151-160.

#### **SECTION VI - Multiple Birth Development**

53. Ainslie, R. (1985). *The Psychology of Twinship*. Lincoln, NE: University of Nebraska Press.
54. Hay, D.A., et al. (1987). *Speech and Language Development in Preschool Twins*. *Acta Genet* 36, 213-223.
55. Hay, D.A., O'Brien, P.J. (1986, September). *Early Influence on the School Adjustment of Twins*. Paper presented at International Society of Twin Studies Congress, Amsterdam, Netherlands.
56. Hay, D.A., et al. (1984). *The Role of Parental Attitudes in the Development of Temperament in Twins at Home, School and in Test Situations*. *Acta Genet* 33, 191-204.

57. Lytton, H. (1980). *Parent Child-Interaction: The Socialization Process Observed in Twin and Singleton Families*. New York: Plenum Press.
58. Malmstrom, P.M., & Biale, R. (1990). *An agenda for meeting the special needs of multiple birth families*. *Acta Genet* 39, 507-514.
59. Malmstrom, P.M., Faherty, T.J., & Wagner, P. (1988). *Essential Nonmedical Perinatal Services for Multiple Birth Families*. *Acta Genet* 37:2, 193-197.
60. Malmstrom, P.M., & Silva, M.N. (1986). *Twin Talk: Manifestations of Twinship in the Speech of Toddlers*. *Journal of Child Language* 13, 293-304.
61. Matheny, A.P. (1987). *Development Research of Twins' Temperament*. *Acta Genet* 36, 135-143.
62. Matheny, A.P., et al. (1981). *Behavioral Contrasts in Twinship: Stability and Patterns of Difference in Childhood*. *Child Development* 52, 579-588.
63. Novotny, P.P. (1988). *The Joy of Twins*. New York: Crown Publishers, Inc.
64. O'Brien, P.J. & Hay, D.A. (1987). *Early Influences on the School Social Adjustment of Twins*. *Acta Genet* 36, 239-248.
65. O'Brien, P.J., & Hay, D.A. (1983). *Is Rearing Twins Different? The Development and Needs of Multiple Birth Children and Their Families from Birth to School Age*. [Pamphlet]. Melbourne, Australia: LaTrobe Twin Study, University of LaTrobe.
66. Pearlman, E.M. (1990). *Separation-individuation, self-concept, and object relations in fraternal twins, identical twins and singletons*. *Journal of Psychology* 124:6, 619-628.
67. Rothbart, B. (1994). *Multiple Blessings*. New York: Hearst Books.
68. Rowland, C. (1991). *Family Relationships*. In D. Harvey & E. Bryan (Eds.) *The Stress of Multiple Births* (pp. 59-67). London: Multiple Births Foundation.
69. Sandbank, A.C. (1988). *The Effect of Twins on Family Relationships*. *Acta Genet* 37:2, 161-172.
70. Savic, S. (1980). *How Twins Learn to Talk*. New York: Academic Press, Inc.
71. Scheinfeld, A. (1967). *Twins and Supertwins*. Baltimore: J.B. Lippincott Co./Pelican Books.
72. Segal, N.L. (1987, May/June). *Jealousy: Does It Put Twins in Double Jeopardy?* *Twins Magazine* 36, 36-59.
73. Wallace, M.(1986). *The Silent Twins*. New York: Prentice Hall Press.

#### **SECTION VII - Training**

74. Bryan, E. (1983). *The Nature and Nurture of Twins*. London: Bailiere Tindall.
75. Bryan, E., & Harvey, D. (Eds.) (1991). *The Stress of Multiple Birth*. London: Multiple Births Foundation.
76. Malmstrom, P.M. (1995, May). *The Influences of Popular Mythology Upon Multiple Birth Parenting Practices*. Presentation at International Society for Twin Studies Congress, Richmond, Virginia.
77. Malmstrom, P.E.M., (Ed.) (1996). *Trainings in Twincare - Promoting Preventive Care of Twins and Higher Order Multiples in County-based Health and Social Service Organizations*. Berkeley: Twin Services, Inc.
78. Malmstrom, P.E.M., & Biale, R. (1996). *Twincare - Protocols for Health and Parenting Education and Psychosocial Services for Families With Multiples*. Berkeley: Twin Services, Inc.

